

事業の基礎情報

実施主体	宇土市
事業実施地域	宇土市
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ その他（マーケティング・システム構築）
共創パートナー	宇土市社会福祉協議会・宇土市西部老人福祉センター
運行形態	乗合タクシー
運行主体	宇城タクシー有限会社

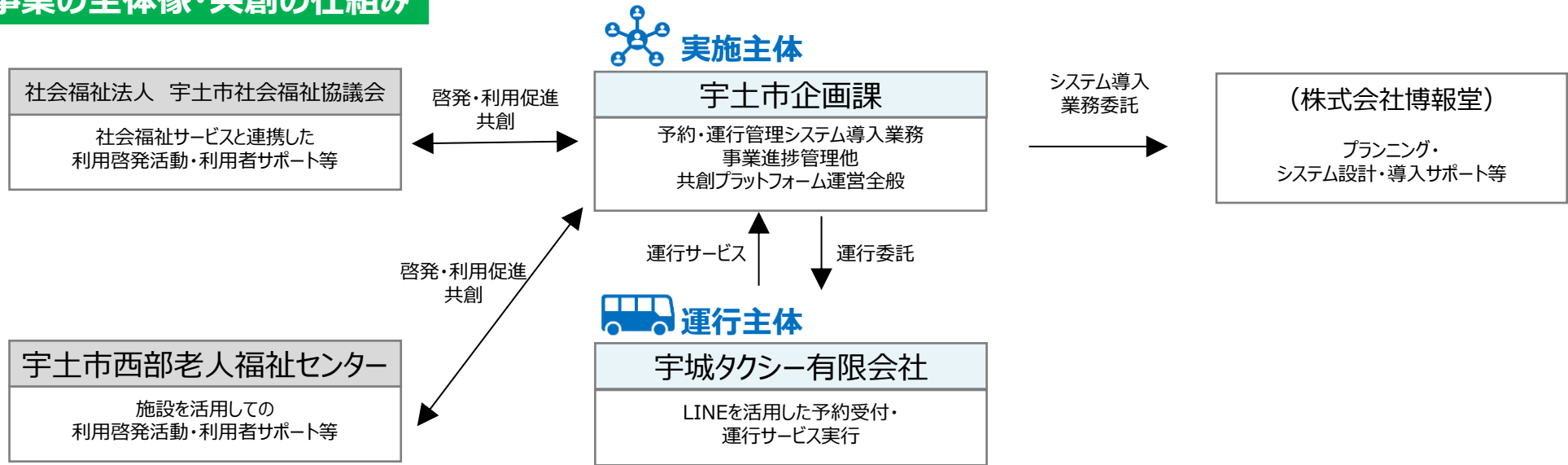
取組の概要

（現状の地域課題と事業目的） 宇土市西部エリアの高齢化率は48.8%（R5.3末時点）となり、免許返納率（R3.10時点約8%）も高まっている。また、路線バスの減便もあり、今後急速に移動困難な住民が増加していく。現在、西部エリアから市中心部への通院・買い物の手段として運行している予約型乗合タクシー「のりのり号」は宇城タクシー（有）が運行を担っているが、ドライバーの高齢化や人員不足の中、予約・配車・運行記録等をアナログで行っており、業務負荷が限界まできている状況。業務負荷を低減し、「のりのり号」を持続・拡張していくために、高齢者でも使用しやすい予約・運行システムのデジタル化に取り組む。

（事業の概要）

- ①運行主体：宇城タクシー（有）➡②予約型乗合タクシー予約受付・運行管理のデジタル化➡③業務効率改善・拡張検討
①社会福祉協議会（福祉サービス）➡②「のりのり号」利用啓発活動、利用登録証取得サポート➡③各種福祉サービス利用促進
①西部老人福祉センター（高齢者施設）➡②「のりのり号」利用啓発活動・各種サポート、スマホ教室➡③施設サービス・CS向上

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

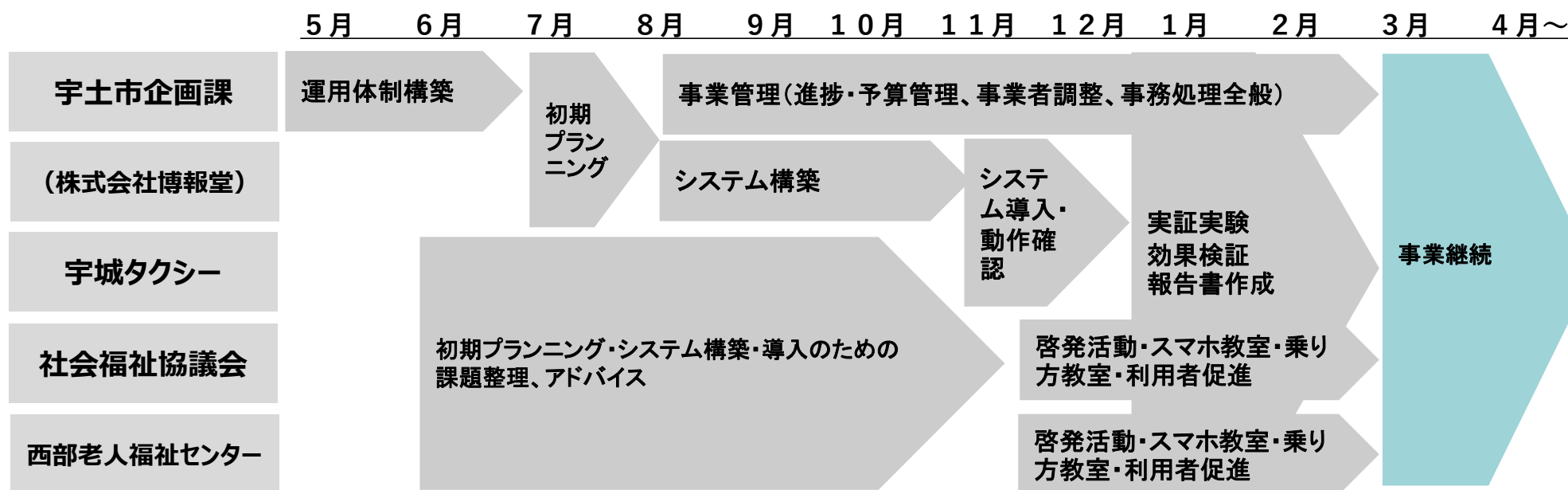
(地域の関係者との連携・協働) これまで宇土市企画課（広報・利用者登録・助成金等）と宇城タクシー（予約・運行サービス）で、西部エリアと市中心部をつなぐ交通手段として、運行してきた予約型乗合タクシー「のりのり号」の予約・運行管理をデジタル化するため、高齢者にも使いやすい設計となっているLINE予約・運行管理システムを導入。社会福祉協議会と西部老人福祉センターとの共創により、利用啓発活動・利用促進を加速。移動困難な西部エリア高齢者の通院、買い物、福祉サービス利用を、「のりのり号」による持続可能な交通システムで支えていく。

(実証事業により見込まれる効果)

- ① 宇城タクシーの業務負荷軽減
- ② 「のりのり号」利用者増（年間延べ利用者1000人目標・前年度比約115%）
 - ➡ 高齢者の総移動量増。それに伴う地域経済活性化、健康寿命延伸等。
- ③ LINE予約数（年間延べ200人目標）
 - ➡ 高齢者のデジタルリテラシー向上。それに伴う福祉サービス他利用増、安全・安心な暮らし環境整備の推進。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

LINE予約・運行管理システムを導入後は、毎月のシステム使用・メンテナンス・運行ルート見直し等に関わる費用と、更なる利用増のための各種啓発活動やスマホ教室（LINE講座）に関わる費用を想定。

地域全体の交通課題を鑑みながら、宇城タクシーの予約・配車業務負荷を軽減、「のりのり号」を路線バス代替手段として拡充することで、公共交通関係全体の財政負担減も図る。

将来的には、更なる財政負担減と市民の利便性向上のために、今回のデジタル化によって培った基盤をベースに公共交通を持続可能なものとするため、マイカーを活用した市民ドライバーによるライドシェア（自家用有償運送）の導入等も検討していく。